

会 議 協 政 県

令和6年4月23日(火)
10:30

1. 女性が輝く地域づくりについて
2. クルーズ船の受入れについて
3. その他

女性が輝く地域づくりについて

配付資料 1

令和6年4月23日
あきた未来創造部

持続可能な活力ある秋田の実現に向けて、女性活躍推進の取組をさらに加速していく必要があるため、「女性が輝く地域づくりプロジェクト」として、次の4つの柱を中心に推進していく。

取組1 県民の理解促進 ～地域における女性の参画拡大～

「ジェンダー・ギャップ解消に向けた理解促進」

- (1) 「地域の女性参画の促進」に向けた相互理解のための取組
- (2) 「ジェンダー・バイアス」を取り除く広報・啓発

※ジェンダー・ギャップ=性差により生じる社会的・文化的な格差

※ジェンダー・バイアス=性差による社会的・文化的な差別や偏見

取組2 若年女性の定着・回帰 ～首都圏若年女性との交流の本格展開～

「首都圏若年女性との交流会の継続と課題解決に向けた取組促進」

- (1) ニーズ等の深掘り及び県の施策や県内企業へのフィードバック
- (2) 若年女性のネットワークを活用した情報発信

【首都圏若年女性との交流会】



取組3 企業経営者の理解促進 ～意識改革に取り組む女性活躍推進企業の拡大～

「企業経営者・マネジメント層向け研修会の開催」

- (1) 各地域で中核となるロールモデル企業の育成・フォローアップ
- (2) 経済団体等との連携強化によるロールモデル企業の取組事例の普及

【企業経営者・マネジメント層向け研修会】



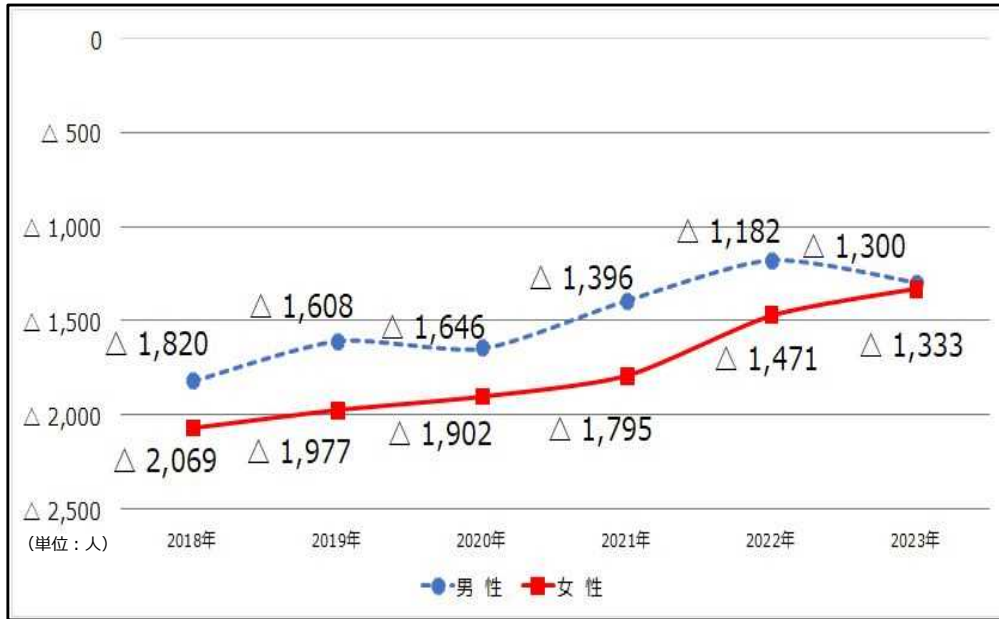
取組4 女性自身の意識改革 ～女性の挑戦や活躍を後押しする官民一体の取組推進～

「女性自身の意識改革に向けた講演会・ワークショップ等の開催」

- (1) 参加企業の拡充及び企業の枠を超えた参加者同士のネットワーク拡大
- (2) 対象者に応じたゲストスピーカーによる講話

(参考) 本県人口の状況について

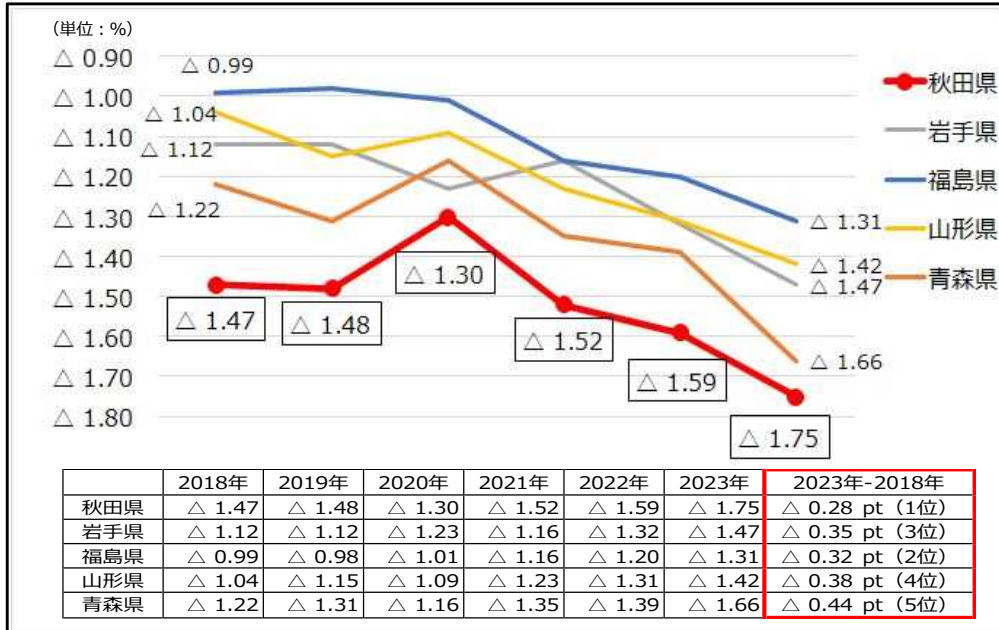
【1 若年層（15歳～29歳）の社会増減数】



※前年10月～当該年9月の数値

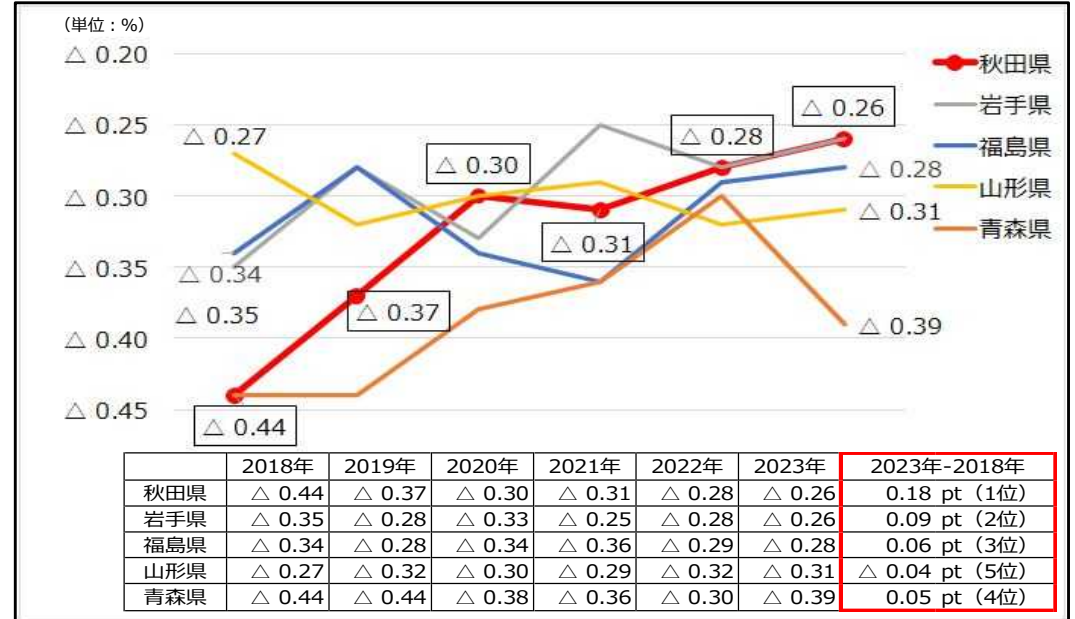
県「年齢別人口流動調査報告書」

【2 人口増減率】



総務省「人口推計」

【3 社会増減率】



総務省「人口推計」

【4 社会増減率の都道府県順位】

順位	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
40位	鳥取県	岩手県 (38位) 福島県 (38位) 福井県 (38位)	秋田県・ 山形県	広島県	新潟県	秋田県・ 岩手県
41位	徳島県	和歌山県		新潟県	長崎県	
42位	福島県	高知県	徳島県	山形県	秋田県・ 岩手県	島根県
43位	岩手県・ 和歌山県	山形県	岩手県	岐阜県	岩手県	福島県
44位		徳島県	福島県・ 和歌山県	秋田県	福島県	山形県
45位	長崎県	秋田県		青森県・ 福島県	青森県	福井県・ 長崎県
46位	秋田県・ 青森県	青森県	青森県	福島県	山形県・ 福井県	
47位		長崎県	長崎県	長崎県	福井県	青森県

総務省「人口推計」

【参考1 都道府県の2045年推計人口の前回推計値からの上振れ・下振れ状況】

	東北地方	全国(東北地方以外)
上振れ	5県 青森、宮城、秋田、山形、福島 上振れ率 ①宮城 6.3% ②秋田 3.4% ③福島 2.6% ④青森 1.2% ⑤山形 0.1%	20都道府県 北海道、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野、岐阜、静岡、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、福岡、宮崎、鹿児島
下振れ	1県 岩手 △3.5%	21県 新潟、富山、石川、福井、愛知、三重、和歌山、鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知、佐賀、長崎、熊本、大分、沖縄

※参考1・2とも国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年（2018）年推計、令和5（2023）年推計）」から秋田県作成

【参考2 秋田県の2045年推計人口の年齢別増減状況（2018年推計比）】

男女計	2018推計①	2023推計②	②－①	
総数	601,649	622,049	20,400	3.4 %
0～4歳	12,682	12,690	8	0.1 %
5～9歳	14,736	14,694	△ 42	△ 0.3 %
10～14歳	16,877	16,370	△ 507	△ 3.0 %
15～19歳	17,334	16,428	△ 906	△ 5.2 %
20～24歳	14,328	14,400	72	0.5 %
25～29歳	16,545	18,536	1,991	12.0 %
30～34歳	18,331	22,756	4,425	24.1 %
35～39歳	21,460	26,206	4,746	22.1 %
40～44歳	24,492	29,132	4,640	18.9 %
45～49歳	29,139	31,527	2,388	8.2 %
50～54歳	32,512	33,045	533	1.6 %
55～59歳	36,676	38,543	1,867	5.1 %
60～64歳	45,115	47,528	2,413	5.3 %
65～69歳	53,700	55,259	1,559	2.9 %
70～74歳	56,063	56,667	604	1.1 %
75～79歳	49,679	49,286	△ 393	△ 0.8 %
80～84歳	48,976	48,494	△ 482	△ 1.0 %
85～89歳	43,479	43,111	△ 368	△ 0.8 %
90歳～94歳	49,525	31,182	△ 18,343	△ 37.0 %
95歳～		16,195	16,195	
(再掲) 0～14歳	44,295	43,754	△ 541	△ 1.2 %
(再掲) 15～64歳	255,932	278,101	22,169	8.7 %
(再掲) 65歳以上	301,422	300,194	△ 1,228	△ 0.4 %

クルーズ船の受入れについて

令和6年4月23日
建設部

1 令和5年の寄港実績

- 令和5年3月に、コロナ禍で停止していた国際クルーズの受入れを約3年5か月ぶりに再開
- 外航23回、内航5回、計28回寄港（総乗客数：46,080人）

2 令和6年の寄港見込み

- 令和6年のクルーズ船の寄港受入れは、昨年と同程度の27回を予定
- 日本に就航する客船のうち、最大級の「MSCベリッシマ」が8回、秋田港に寄港（乗客定員：4,386人）
- 「クァンタム・オブ・ザ・シーズ」（乗客定員：4,180人）など、5隻が秋田県へはじめて寄港

3 今後の取組

- クルーズ船社やランドオペレーターへの訪問、海外船社の幹部招聘等によるポートセールスの実施
- 「あきたクルーズ振興協議会」等の関係者との連携による、寄港地観光のモデルルートの提案や体験型コンテンツの磨き上げ など

MSCベリッシマ寄港状況



秋田港受入れ状況



令和5年の寄港実績及び令和6年の寄港見込み

	令和5年			令和6年		
	外航	内航	計	外航	内航	計
秋田港	21	2	23	21	5	26
船川港	0	3	3	0	1	1
能代港	2	0	2	0	0	0
計	23	5	28	21	6	27

参考 令和6年の寄港見込み

No.	外航／内航	寄港日	客船の名称
1	外航	3月22日(金)	アザマラ・ジャーニー
2	外航	3月30日(土)	クイーン・エリザベス
3	外航	4月6日(土)	アザマラ・ジャーニー
4	外航	4月13日(土)	シルバー・ミュージズ
5	外航	4月28日(日)	シルバー・ミュージズ
6	外航	4月29日(月)	クイーン・エリザベス
7	外航	5月9日(木)	M S Cベリッシマ
8	外航	5月18日(土)	M S Cベリッシマ
9	外航	5月27日(月)	M S Cベリッシマ
10	外航	5月31日(金)	ヘリテージ・アドベンチャラー
11	外航	6月7日(金)	ハンセアティック・スピリット
12	外航	6月19日(水)	ダイヤモンド・プリンセス
13	外航	8月1日(木)	ダイヤモンド・プリンセス
14	内航	8月4日(日)	にっぽん丸
15	内航	8月5日(月)	飛鳥Ⅱ

No.	外航／内航	寄港日	客船の名称
16	内航	8月5日(月)	飛鳥Ⅱ
17	内航	8月22日(木)	飛鳥Ⅱ
18	内航	8月24日(土)	飛鳥Ⅱ
19	外航	9月12日(木)	M S Cベリッシマ
20	外航	9月21日(土)	M S Cベリッシマ
21	内航	10月9日(水)	飛鳥Ⅱ
22	外航	10月12日(土)	クァンタム・オブ・ザ・シーズ
23	外航	10月18日(金)	ノールダム
24	外航	10月25日(金)	M S Cベリッシマ
25	外航	10月27日(日)	ノルウェージャン・スピリット
26	外航	11月8日(金)	M S Cベリッシマ
27	外航	11月17日(日)	M S Cベリッシマ

■ M S Cベリッシマ

■ 秋田県に初めて寄港する客船

※ 寄港はNo. 15 飛鳥Ⅱが船川港、他は秋田港